

介護 みんなで支える介護保険 No157

問 保健福祉課 介護福祉係
☎476-1111(141)

◆認知症について正しい知識を持ちましょう part 10

10月号から引き続き、認知症の症状である『認知症の行動・心理症状とその支援』について紹介します。

《認知症の行動・心理症状とその支援～その3～》

【周囲の人が疲弊する精神症状】

○しまい忘れからもの盗られ妄想へ、最後はより複雑な妄想になることも

通帳などの大事なものをしまい忘れるのは認知症の人なら多くの人に起こる中核症状ですが、自立心が強い方などが、いつもの場所ではなく違う場所にしまいこみ、すっかり忘れてしまったために「通帳がなくなった。」と思い込んでしまい、そばで世話をしてくれている人が盗んだという『もの盗られ妄想』へつながってしまうことがしばしばあります。なくし物が出てくればおさまる妄想ですので、周囲の人はあまり深刻に考えないようにしましょう。こういった妄想は時期が来れば自然に見られなくなります。

しかし、人によっては単純なもの盗られ妄想から「嫁は家の財産を狙っている」とか「家に乗っ取られる」といった妄想に発展します。これには『妄想的になりやすい』という素質が深く関与しているので、妄想を治療する抗精神病薬が効果を上げることが少なくありません。

単純なもの盗られ妄想にしては訴えがオーバーだったり執拗だったりするときは、妄想の対象となっている人を守るためにも、本人の症状を軽減するためにも、認知症をよく理解している専門医に相談することが重要です。

◆障害者控除について

所得税が課税される見込みがあり確定申告をされる方で、介護保険の要介護認定（要介護1以上の認定）を受けている方、または扶養家族で介護保険の要介護認定（要介護1以上の認定）を受けている家族のいる方についても、『障害者控除』の対象になりますので、保健福祉課介護福祉係の窓口で『障害者控除対象者認定書』の申請をお願いします。

なお、申請書類をもとに調査を行いますので、認定書については後日郵送で交付いたします。（窓口では申請書の提出のみとなります）

★認定されると

所得税や住民税の控除が受けられます！
（要支援1・2の方は対象外）

要介護状態 区分	認定区分	控除額	
		所得税	住民税
要介護1～2	障害者に準ずる	27万円	26万円
要介護3～5	特別障害者に準ずる	40万円	30万円

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業実績についての報告（利用者の1割または2割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4,947人	平成27年10月末日 現在
要介護（支援）認定者		1,027人	
給 付 実 績	在宅介護サービス費	42,630,964円	平成27年9月の 給付実績
	施設介護サービス費	56,919,307円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	30,976,707円	
	介護サービス費 合計	130,526,978円	